



栄小学校だより

令和3年12月2日(木) No.28

〇年末の交通安全県民運動

12月1日(水)～12月10日(金)は、「令和3年 年末の交通安全県民運動」を実施します。この運動は、「思いやる やさしい心で 走る三重 ～気持ちよい 運転マナーの美(うま)し国～」をスローガンにして、三重県一体で展開をしています。

【運動の重点】～三重県・三重県交通対策協議会 発行チラシより抜粋～

・高齢者と子どもの交通事故防止

交通事故死者全体の半数以上を占めている高齢者と、次代を担う子どものかけがえのない命を、社会全体で交通事故から守りましょう。特に、視認性が低下し、重大事故の発生が懸念される夕暮れ時と夜間の交通事故を防止しましょう。

<夕暮れ時, ちょっと早めのライト・オン運動実施中>

・10月1日～12月31日まで

・自動車, オートバイ, 自転車運転者は, 歩行者や道路上の危険をいち早く発見できるよう, 早めのライト点灯を心掛けましょう。

・歩行者, 自転車運転者は, 反射材用品を着用し, 自分の存在を周りにアピールしましょう。

・横断歩道における歩行者優先の徹底

横断歩道での歩行者優先は「マナー」ではなく、法律に定められた「ルール」です。ドライバーは、横断歩道における歩行者優先を徹底しましょう。歩行者の方は、道路を横断する時はしっかりと左右の安全確認をし、近くに横断歩道がある場合は横断歩道を渡りましょう。

・シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

シートベルトは交通事故から命を守る命綱です。命を守り、そして、被害を軽減させるためにも、車に乗ったら全ての座席でシートベルトを正しく着用しましょう。また、6歳未満の幼児を乗車させる際は、チャイルドシート等を使用しましょう。

・飲酒運転の根絶

飲酒運転は犯罪です!!

一人ひとりが「飲酒運転は絶対しない, させない, ゆるさない」という強い自覚を持って社会全体で飲酒運転を根絶させましょう。

〇スポーツ出前講座

11月30日(火)、5年生が「スポーツ出前講座」を受講しました。この行事は、今年度の開催される予定だった「みえとこわか国体」に合わせて様々なスポーツの県代表選手が、鈴鹿市内の小中学校に出向きそのスポーツの楽しさ等を伝えるものです。前回の「サッカー」に続いて、今回の講座は、「ハンドボール」でした。今回の講師は、鈴鹿市を拠点として日本ハンドボールリーグでトップクラスの「三重バイオレットアイリス」の方々でした。一流のスポーツ選手のやさしくわかりやすい指導で「ハンドボール」という競技を知り、楽しむことができました。



○児童集会を開催しました！

12月1日(水)の5限目に、全校児童が集って体育館にて「児童集会」を開催しました。

この集会は、後期児童会役員のみなさんが企画・運営をして行いました。

今回は、①後期児童会役員認証式、②後出しクイズ、③まちがい探し劇「あなたならそうする？」でした。児童集会では毎回、楽しい時間が過ごせています。役員のみなさん！ありがとうございます！



後期児童会役員のみなさん

○市制記念 国体弁当箱給食

12月1日(水)は、鈴鹿市制記念日です。1942年(昭和17年)12月1日に鈴鹿市が誕生して79年となります。ここ栄地区は、1954年(昭和29年)8月1日に安芸郡栄村から鈴鹿市に編入しました。

市制記念日に市内小中学校では、「国体弁当箱給食」と名付けて、本来、開催される予定だった「みえとわか国体」のために準備された弁当箱(未使用新品)を使っただけの給食となりました。普段使用している食器と違っていましたが、中身は給食調理員さんが作ってくれたおいしい給食です。弁当箱で給食を食べながら、「国体が開催されていたらこの弁当箱は、誰が使ったんだろう？」など、考え、いつもと変わらず、おいしくいただきました。食べ終わった箱は、鈴鹿市がまとめて処分してくれました。



☆特集 保護者に向けた「親塾シリーズ」No.7

わかっているけれど……。なかなか難しい！ 子どもの基本的な生活習慣・学習習慣の定着

○全国学力・学習状況調査等の結果、基本的な生活習慣や学習習慣が、子どもたちの学力と大きくつながっているとされています。

小学校6年間で身についた良くない(悪い)習慣は中学校に入学しても中々、改善できず学力面(成績面)で受験期に苦勞する子どもも多く存在します。

その中でも、特に問題になっているのが、ゲーム機器・オンラインゲーム・SNSなどの過剰な使用時間についてです。子どもたちの大切な生活時間を奪うツールについて、その使い方を各家庭でもう一度子どもを交えて話し合う必要があると思います。

それら、ツールを使用するのは子どもですが、買い与えるのは保護者です。(責任が発生します)子どもの数年後の姿を思い浮かべて、また、進路選択の可能性を狭めないためにも購入や使用については考えていただきたいと思います。

「便利なツールを使いこなす」ことは、大切なことですが、「ツールに人生を左右される」「無用なトラブルに巻き込まれる」ことになれば、取り返しのつかないこととなります。

※長い目で見て「得られるもの」と「失うもの」を見極めて！

※「親バカ」と「バカ親」では中身が違う！